

# 平成30年度入学生 キャリア教育全体計画書

## 1 全体目標

○ 社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。

## 2 現状・課題

本校に入学する前に様々な挫折を経験した生徒が多く、特に新たな人間関係の形成やコミュニケーションやに自信を持ってない傾向がある。自己肯定感や社会とかかわるためのスキルを高める取り組みをしていくことが必要である。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい

- a 他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴き、自分の考えを伝える力
- b 自らの思考や感情を律し、且つ進んで学ぼうとする力
- c 進路実現に向けて課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し解決する力
- d 将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決力

## 4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 自分自身の能力や適性の理解とその伸長に努力するとともに、多様な他者との適切なコミュニケーションをとることができる。〈①②〉
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 卒業後の進路や職業・産業の動向についての情報を収集・検討するとともに、多様な勤労観・職業観を理解し、深めることができる。〈②、③、④〉
③ 様々な学習や体験を通し勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	ウ 自分の意思と責任で自ら進路を選択するとともに、その実現を目指して課題の設定と解決に取り組むことができる。〈②、③、④〉
④ 卒業後の進路を選択し、実現をめざす	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の徹底による学力向上と基本的な生活習慣を確立する</li> <li>・各自が選択したコースの科目を通じて、目標とする進路を考えライフプランを作成する〈1年〉</li> </ul>
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本当の自分を見つける」クラス・学年による仲間・集団づくりを通して自分を見つける</li> <li>・「生命の尊重」性教育・健康・人権・平和学習</li> <li>・「可能性を開く」進路ガイダンス・事業所見学会・就業体験</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路研究・職業研究</li> <li>・全職員による面接指導、小論文指導</li> </ul>
校外の体験活動 (就業体験活動等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップなどの体験的活動を通じて、自己の希望進路と能力・適性の関係を吟味する (職業体験・福祉実習を通じて、職業観やコミュニケーション能力を育成する)</li> </ul>
地域や産業界等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地元企業の高校内企業説明会」に参加し、職業意識形成を図る</li> <li>・インターンシップなどの体験的活動を通して、自己の希望進路と能力・適性の関係を吟味する</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒への各種アンケート、キャリアノートの研究、教員へのアンケート</li> <li>・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用</li> </ul>
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校との連絡会でキャリア教育に関する情報交換会</li> <li>・中学校訪問においてキャリア教育について説明</li> </ul>
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育推進委員会 (教頭・キャリア教育主任・各学年主任・特別支援コーディネーター・生徒指導主任・教務主任)</li> </ul>

5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○自分の能力・適性を知る ○人間関係の構築と協働を知る ○進路(職業)を研究する	○自己の在り方、生き方を探る ○進路先を研究・選択する ○働く意義を考察	○進路先の決定 ○進路実現を目指す ○将来設計の立案と社会的移行の準備
主 な 取 組	○自己理解と進路研究 ○多面的多角的な情報収集 ○進路に見合ったコース選択	○将来設計、進路設計の実現に向け課題を設定し、その解決に取り組む ○就業体験	○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化 ○学校見学、事業所見学
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・生徒自己評価 ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・生徒自己評価 ・教員アンケート	・生徒意識調査(県教委) ・生徒自己評価 ・教員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

	教 科	総合的な学習の時間	特別活動 等	その他(面接・評価等)
1 年	4 生活や人生について考えを深め、たくましく生きる意志を培う(国語、現社、理科、保健、家庭) 7	本当の自分を見つける クラス学年による仲間・集団づくりを通して自分を見つける <u>事業所見学</u>	これまでのキャリア形成の振り返り 進路調査 進路選択に係る諸活動	個人面談  三者面談
	夏 補習で進学に対する意欲を養う(国語、数学、英語、公民、理科) 休			
	9 情報を収集・処理・表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養う(国語、英語、情報) 12	可能性を開く 進路ガイダンス 生命・人権・平和の尊さについて学ぶ	進路研究 就職研究  2年時からのコース選択	生徒意識調査(県教委) 三者面談
	1 生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があることを理解できるようにする(保健、体育、家庭) 春休			
	4 日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、科学が果たしている役割を理解する(理科) 7	自己啓発 クラス・学年などの仲間・集団作り  生命・人権・平和の尊さについて学ぶ	進路ガイダンスなどでの進路研究	三者面談
2 年	夏 補習で進学に対する意欲を養う(国語、数学、英語、地歴、理科) 休			
	9 家族や家庭生活の在り方、子供と高齢者の生活と福祉について考えさせ、ともに支えあって生活することの重要性について認識する(保健、家庭) 12	SST講習会 <u>就業体験</u>	進学研究 職業研究	生徒意識調査(県教委) 三者面談
	1 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育む 3 (保健、体育) 春休			
	4 生活圏の地理的な諸課題をとらえ、その解決に向けた取り組みなどについて探求する 7	<u>事業所見学</u> 生命・人権・平和の尊さについて学ぶ	進学研究 職業研究 全職員による小論文指導、面接指導	三者面談
3 年	夏休		オープンキャンパス(希望者)	
	9 12		進学研究 職業研究 外部講師による労働に関する法律・社会保障等についての講話	生徒意識調査(県教委) 三者面談
	1 3		外部講師による消費者教育	